

令和4年度 第1回 四街道市立中央小学校 学校運営協議会 会議の記録

- ・期 日 令和4年5月13日（金）
- ・時 間 15：00～16：30
- ・会 場 四街道市立中央小学校 会議室

- 出席委員 10名
- 欠席委員 2名
- 教育委員会 教育長 府川雅司  
社会教育課 課長 久保木直樹 指導主事 千葉薫  
総括支援コーディネーター 高野松男
- 傍聴者 なし

《会議内容》

※進行 社会教育課長

1 はじめの言葉（社会教育課長）

ただいまの出席者は10名で、会議は成立しましたので、これより令和4年度第1回四街道市立中央小学校学校運営協議会を開催いたします。

次第に入る前に、4点連絡させていただきます。

- ・今年度市で開催する会議では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、冒頭挨拶・職員紹介等、会議に支障のない範囲で短縮することが推奨されているので、ご了承ください。
- ・マスクの着用について、ご理解、ご協力をお願いします。
- ・換気のため出入口及び窓を開けています。各自服装での調節等体調管理をお願いします。
- ・記録用として会議の音声を録音し、会議録に発言者のお名前を記載させていただきます。会議録は市ホームページに掲載され

ます。

次に、資料の確認をさせていただきます。資料は全部で6点です。不足等がございましたらお申し出ください。

## 2 教育長挨拶

(略)

昨年度から四街道市コミュニティ・スクール推進事業が始まり、その1校目として中央小学校をモデル校として学校運営協議会を設置させていただきました。本日は、皆様のご協力のもと、2年目の学校運営協議会を開催させていただきます。

なお、四街道市では今後、中央小学校の成果等を検証させていただいたのち、少しずつ設置校を増やしていくことを考えているところです。

学校運営協議会は、地域住民や保護者の代表、学校代表などが委員となり、学校が作成した学校運営などの基本方針について検討し承認等をする組織です。

様々なお立場の皆様が意見を交わす中で、学校の魅力や課題等について共有し、家庭・学校・地域が一体となった、よりよい教育環境の実現を目指すことをねらいとした制度です。

(略)

## 3 校長挨拶

(略)

本校は今年度で開校57年目となり、児童716名、教職員も異動により約2割が入れ替わり49名でスタートしたところです。

さて昨年度より学校支援に関わる地域や保護者の方々とのより一層の連携・協働に向け、四街道市より市内で1校目となるコミュニティ・スクールの依頼を受け、学校運営協議会を設置することになりました。

コミュニティ・スクールの主な3つの機能としては(1)「校長の作成した方針等を承認すること」(2)「学校運営について、教育委員会や校長に意見を述べるができること」(3)「教職員の任用に関して意見を述べるができること」があります。皆様には、今後本会議におきましてこの3つの権限のもとに協議をしていただくこととなります。

(略)

#### 4 委員の任命

教育長から、一人ずつ任命書を手渡す。

#### 5 委員自己紹介

#### 6 会長・副会長の選出及び挨拶

○会 長 渡部 洋 様 (委員からの推薦により)

○副会長 山崎英企 様 (委員からの推薦により)

会長挨拶・・・昨年、70代最後の年に務めさせていただきましたが、今年度も皆様方のお力をいただきまして、何とかこの要職を務めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

副会長挨拶・・・私も中央小の出身です。微力ではございますが、よろしくお願いいたします。

〈5分程休憩〉

※ここから会長の進行 (長)・・・会長)

#### 7 会議の公開について

長)・・・会議の公開についてお諮りします。本日は会議次第、配付

された資料からも非公開とする必要はないと思われまので、公開としたいと考えます。委員の皆様いかがでしょうか。

委員・・・はい。

長 ・・・本日は傍聴希望者はおられますか。

事務局・・・おりません。

長 ・・・はい。次に会議録の作成については要点筆記とし、発言者の氏名を明記することとします。記録は社会教育課にお願いいたします。よろしいですか？

委員・・・いいです。

## 8 協議

長 ・・・それでは、8番の協議に入ります。令和4年度の学校運営について、ご提案をよろしくお願ひいたします。

長谷川 ・・・学校運営の説明の前に、年度当初、職員と児童に話したことをお話ししたいと思ひます。校長としてどんなことを大切にしたいかということをお話ししました。それは謙虚な気持ちを持ち、相手の良さを認め敬うことを大切にしたいということです。謙虚であるというのは、自分がまだ未完成な人間であるということをお覚するということです。ですから自分に足りないところは勉強して補強する。人から指摘を受けたら良く考えてみる。思い当たることがあれば、改めてみる。学校にも社会にも様々な経験や価値観を持った人がいて、その誰にも優れたところがあり、そこを敬ひ相対する。そうすることで円滑な人間関係が構築できるのではないかと話しました。なぜかと言へば、誰にでも人間としての誇りがあり、その誇りは誰からも汚されたくない、

傷つけられたくないものであるし、傷つけてはいけないものだと話しました。相手を敬うということは、相手の誇りを尊重するということだと考えております。円滑な人間関係を作り、自分を向上させるために、謙虚な気持ちを持ち、相手の良さを認め、敬うことを大切にしましょうということを職員と子ども達に話しました。学校運営を進めていくにあたり、根幹となるのはこの思いです。

そこでお手元の「学校経営グランドデザイン」をご覧ください。

(別添「学校経営グランドデザイン」に沿って説明する。)

長

・ 詳しい説明をありがとうございました。

ただいまの説明に対して、質問や意見ございますでしょうか。

加瀬 ・ 大変立派なグランドデザインで、多岐に渡っており、校長先生をはじめ、先生方のご努力は大変だとまず思いました。

その中で全国学力テストで平均より下回ったということでしたが、保護者の立場からすると、基本的なものがちょっと落ちているのかな、と見えてしまうのでは。何か対策をもうちょっとしっかりと、目につくようなところをカバーして行って欲しいと思います。昨年度のアンケートを見ると、児童の感想と、先生方の感想と、保護者の感想とが一致しているものもありますが、差が出てしまっているものもありました。学力などははっきりと出てしまう気がします。

それから学校経営の中で、去年も申し上げたことですが、先生方の時間外勤務というのは手当の中に含まれており、

先生方の時間外に対する概念はあまりないようです。そうすると時間に対する意識が希薄になってしまうのではないかと思います。先生方の意識がこれでいいんだというままであれば、いつまでたっても改善されないと思います。学力向上について、このコロナ禍でタブレット端末の使用をしているようですが、その効果についての報道を見たことがあります。良い使い方をすれば効果が期待できると思います。

命の教育の中でいじめの防止問題について、去年のアンケートでは、先生方はこの学校にいじめは100%ない、児童は90%がない、保護者は85%がないと回答しています。この差は無視しない方が良いと思います。私個人的には、児童が90%ないと言っているのは、いいのではないかと思います。

長

・ ・ ありがとうございます。

校長先生、今のご意見の中でお答えできるものございましたらよろしく願いいたします。

長谷川

・ ・ 学力向上については、やはり授業改善が大事と考えています。まずできる事としては、まとめを自分の言葉で書くこと。当たり前のことですが、子ども達が1時間学習してきた事を結び付けられず、身につかないということがあるので、それが繋がるように学習のまとめを自分の言葉で書くということを地道にやっていかなければいけないと考えています。

時間外勤務については、職員が退勤時間が過ぎてからどのように過ごしているのかを見ていると、まず情報交換なんですね。このように授業を行ったらうまくいったとか、こういう教材を使うとうまく進む等の情報交換なんですね。

その情報交換を終えた後、それぞれの明日の準備となってしまうています。そういったことが、学力向上だとか翌日の授業を円滑に進めるために必要なものになっていると思うと、時間の無駄使いをしているのではないので、ではどこを削れるかというところは、大事なところなので少しずつ話し合いながらやっていきたいと思っています。

加瀬・・定時退勤の日を設けているということをお聞きしましたが、定着はどうですか？

長谷・・4月は年度初めで、提出物や掲示物等いろいろありますので難しいところがありましたが、ある程度整ってききましたので、水曜日を「ノー残業デー」として声掛けをしているところですよ。

加瀬・・私がいた会社では、定時退社についてある程度強権発動みたいなことでやってもらっていました。学校に馴染むかどうかはわかりませんが、一つの方法かと思います。

長・・先日の新聞に、文科省が教科担任制を小学校でも採用するという記事がでていましたが、中央小の場合は何かそういうことは進めていらっしゃるのですか？

長谷・・音楽や図工の専科を置いているということですね。

川

長・・私は米作りで関わらせていただいておりますが、先生方の横の連携が素晴らしいと感じています。  
それと、「児童のため」というものが先生方は非常に強いのですね。私が朝早く来て作業していると、早い時刻に登校する児童が見られるが、先生方はそういう子にも対応していて凄いなと思っています。

加瀬・・私は朝の見守りを行っているのですが、今朝練をやっている

るようで、とても早い児童がいますよね。

ただ先ほどの話で、職員の時間外というところを考えると、それはちょっとね……。

長谷川 ・ ・ 期間が限られていますので、早く来た職員には他のところで早く退勤して、バランスをとるようにしています。

長 ・ ・ その他、いかがでしょうか。

後藤 ・ ・ コロナの前は、学校への協力として図書ボランティアとか「町探検」のお手伝いとかを、学校の方から募集していただいていたのですが、コロナも少しずつ落ち着いてきた中で、保護者も少しずつ関われば良いと思いますので、そのようなことをまた考えていただけたらと思います。

それと、今年度久しぶりに授業参観・保護者会が開催されました。コロナ前は保護者会の時に役員を決めていましたが、コロナに入ってから、年度内に決めて保護者会の時には既に役員が決まっているということでスタートしたいという思いがありました。これまでの保護者会は平日で、役員決めもあったので、すごいストレスがあったのですが、役員決めについて変えたことと、今回は土曜日開催ということもあり、すごく参加が多かったとお聞きしました。久しぶりに先生のお話を直接聞けてすごく良かったと皆さんからお聞きしています。開催していただいてありがとうございます。

河野 ・ ・ 質問をさせていただきたいのですが。子ども達というのはやはり、担任の先生がどういう先生かで、すごく変わると言うんですよ。先生たちの評価というのはどのようになっているのか、その評価の仕方、目に見える形だったら給料に関わってくるとか、どうやってやる気を出して気持ちよく働いてもらうか、そのようなことを教えて欲しいのです

が。それについては会社も学校も同じだと思っています。先生一人一人の評価というのほどのようなに行われているのでしょうか。

長谷川・私が示した方針は大きなもので、各クラスの実態もありますし、職員一人一人の特性や持ち味もあるので、学校経営の目標を実現するために、一人一人がどのようなことを取り組んでいくのかという目標を立てさせます。その上で私と面談をして、それをいつ頃までにどのような形で達成しましょうかと一人一人と面談をします。そして、結果はどうだったかについても期間をおいて面談しています。このように目標と結果・成果についての確認をしながら一人一人の力が向上するように進めています。

河野・校長先生が良い評価をされたことが、その職員に何か反映されるのですか？

長谷川・持っている力も違い、一人一人のスタートラインが異なるので、それぞれに評価をしようと思いますが、具体的にどうっていうのはお答えづらいです。

河野・目に見えるものがないと、結局先生も人なので、目標を達成したらお金でないにしろ、何かご褒美をあげないとやる気につながらず、結局児童にも反映しないと思います。先生が児童から尊敬されるようにしないと、児童は先生によって変わってしまうので、そこは大きいと思います。

加瀬・私も河野さんの意見はよくわかります。数字で評価される会社は、社員の評価は歴然としています。目標を上まわれればその分給料が上がりボーナスも上がります。

企業経営と学校と言うか官庁の経営はちょっと違うと思います。どちらかと言うと、公務員は試験を受けながら上になっていく。頑張っている先生にご褒美を差し上げられ

たらよいが、この協議会でそれを言ってもなかなか難しい。何か差し上げるというのには大賛成ですが。

河野・・学校だけでなく、官公庁には、頑張った人への評価をもっと考えて欲しいと思っています。そうしないと、先生方の向上心も高まらない。児童にもそういう先生の気持ちが見えてしまうと思います。そこをどうするかが仕事でもあると思います。

長・・ありがとうございます。企業と学校を同レベルで比べるのは難しいとは思いますが、そのような印象を持たれているというのはよくわかりました。

そこを先生方がどうとらえていくか。子ども達の反応、学習で力がついたなど、その喜びが先生方の仕事では大きいのではないかと思います。

河野委員のお考えはよくわかりました。これからも、皆さんの思いをこの協議会で意見交換していければと思います。

米家・・私は今年初めて参加させていただきましたので、少し感想とお願いがあります。

今まで教育委員会の先生方と関わるが多かったのですが、やはりモチベーションとして、子どもがどう変わっていくかを重視していると思うのですね。校長先生や河野さんがおっしゃったように、教育する人の人間性や生き方が子ども達にもろに影響がある。私は今日このグランドデザインを伺って、とても考え方がたおやかだなと思いました。こういう所に子どもを預けたいと。ただやはり学力という部分はとても大事なことだと思います。でも、伺っている中で一番印象が強かったのは、掃除を例におっしゃっていましたが、なぜするのかということ。なぜするのかを考えることと、自ら学びたいと思えるということはとても大事

なことだと思います。英語の学習でも、受け身だといつまで経っても話せないです。自分で学びのルールに乗った人はすごく英語が上手になるのです。

朝ドリルも大事だと思いますが、昔のつめこみ教育のように考えるのではなく、楽しい、面白いと思えば学びのルールに自ら乗ってくれると思うんです。教材の工夫もぜひ学校の方でしていただけたらなあと思います。

校長先生が教職員にお話しされたことは、とても大事なことで、しゅっちゅう先生方に話していただきたいと思っています。

学びのルールというのは、あくまで自学の習慣のルールという意味なので、先生には工夫をしていただければと思います。

長 ・ ・ ありがとうございます。校長先生の運営方針につきまして、意見交換をしてみましたが、この協議会の役割りとして皆様の承認を得ることがあります。この学校運営方針に賛成の方挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございます。それでは校長先生の学校運営方針は承認されました。

## 9 報告及び意見交換

(特になし)

## 10 その他

長 ・ ・ それでは事務局の方から連絡をお願いします。

千葉・・・①マイナンバーについて

②パンフレット「コミュニティ・スクール2018」について

③名札の回収について

長・・・今年度は第2回目の会議が12月9日、そして3回目は2月22日に開催いたします。時間等はその都度お知らせいたします。

最後に皆様方から何かございますか？

(特になし)

#### 11 おわりの言葉（会長）

それでは、以上をもちまして、第1回の協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。